

◆授業のポイント◆

- ・ 学習カードやステップシートの工夫
- ・ 表現活動における習得した技能を活用させる授業の工夫

音楽科学習指導案

日時 平成22年6月4日(金) 1校時
学級 1年6組(男子18名 女子17名 計35名)
授業者 教諭 寺地郁美

1 題材 歌声をつくろう・合唱の喜び

教材 「太陽がくれた季節」 山川啓介 作詞 はずみたく 作曲
「マイバラード」 松井孝夫 作詞・作曲

2 題材について

(1) 題材設定の理由

中学生としての生活がスタートしてから約2ヶ月が過ぎ、新しい友人もでき、学級の雰囲気もつかみつつある時期である。歌唱の活動において本校1年生は、変声期を迎えた生徒も少なく、素直に自分を表現したり、恥ずかしがらずに歌ったりでき、のびのびとした歌声で学習に取り組んでいる。

歌唱の活動では、歌詞の内容や曲想を感じ取り表現を工夫して歌う能力、曲種に応じた発声で言葉の特性を生かして歌う能力、声部の役割や全体の響きを感じ取り表現を工夫しながら合わせて歌う能力を高めていくことをねらいとしている。そこで、学習活動において、楽譜に書かれている用語や記号について、例えば、単にフォルティッシモが付いているからとても強く歌うというのではなく、なぜその部分に記号が付けられたのかを考え話し合ったり、声量や発音について実際に試したりさせることで歌唱表現に意欲的に取り組もうとする態度を養いたい。また、生徒が校内音楽コンクールを通して、自信をもって歌えるようになったという満足感や充実感を味わい、みんなで心一つにして音楽を創り上げる喜びを味わうことをねらいとし本題材を設定した。

「太陽がくれた季節」は、1972年に発売された青い三角定規のシングルである。日本のフォークソングを代表する名曲の一つである。未来をみつめた前向きな詩と、生きる力強さを表した旋律であることに気付かせ、歌唱表現にふさわしい発音の仕方や、同声二部合唱の響き合いを感じ取らせながら歌わせたい。「マイバラード」は、中学校の合唱コンクールなどで歌われる機会が多く、松井孝夫先生のデビュー曲である。松井先生は、当時ボランティア活動で障害をもつ人たちと一緒に音楽活動をしていた。その時に出会った仲間との活動によりこの歌が浮かんだ。バラードとは、ここでは感傷的な雰囲気をもつ曲という意味である。この曲の見せ場である3連符や言葉の自然なリズムなどに注目させ、感情をこめて歌わせたい。

指導にあたっては、国語科との言語活動の関連として、1年生で学習する「読むこと」の「文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと」を用い、音楽科では、表現活動を通して生まれる音やことば、記号などを活用し互いに認知、共有するために、ことばで説明したり、説明されたことを理解したりする場面を設定して表現する力の育成を図りたい。

(2) 生徒の実態 (アンケート対象: 1年6組 男子17名 女子17名 計34名 回答)
今回の学習に取り組むにあたって、事前調査を実施した。

1. 歌うこと (歌唱活動) は、楽しいですか。

とても楽しい (12人) 楽しい (13人) どちらでもない (7人) 楽しくない (2人)

2. [1] で答えた理由

○ 「とても楽しい」「楽しい」と答えた人

- | | | |
|----------------------|--------------|---------------|
| ・うまく歌えたら達成感がある | ・スッキリする | ・歌うと気持ちがよい |
| ・みんなと合わせて歌うと楽しい | ・気持ちが和らぐ | ・テンションが上がる |
| ・みんなの声で新しい声ができる | ・いろんな旋律が聴ける | ・合唱が特に好き |
| ・好きな歌だと自然に声が出る | ・自分らしく自由に歌える | ・元気が出る |
| ・みんなの心が一つになったみたいと感じる | | ・ハーモニーを作るのが好き |

● 「どちらでもない」「楽しくない」と答えた人

- | | | |
|------------|----------|---------------|
| ・声が出ないから | ・聴くことが好き | ・好きな曲と嫌いな曲がある |
| ・歌がうまくないから | | |

3. 歌うとき、どんなことに気をつけていますか。(複数回答)

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| ・リズム (24名) | ・歌詞 (23名) | ・音程 (18名) | ・口形 (15名) |
| ・速度 (14名) | ・姿勢 (11名) | ・表情 (11名) | ・呼吸法 (9名) |
| ・強弱 (8名) | ・響き (7名) | ・拍子 (5名) | ・諸記号 (5名) |
| ・作者の想い (1名) | | | |

4. 歌を決めるとき何を重視しますか。(複数回答)

- | | | |
|------------|--------------|------------------|
| ・雰囲気 (21名) | ・テンポ (19名) | ・歌詞の内容 [意味] (8名) |
| ・曲の調子 (8名) | ・パートの編成 (3名) | ・音域 (1名) |

アンケートの結果から、本学級では、歌うこと (歌唱活動) は「とても楽しい」あるいは「楽しい」と答えた生徒は全体の約8割を占めている。その理由として、「うまく歌えたら達成感がある」「元気が出る」「歌うと気持ちがよい」「テンションが上がる」などがあげられ、これらのことから、歌唱活動に対して大変意欲的な生徒が多い学級であることがわかる。また、授業においても、積極的に歌う姿勢が見られる。さらに、「合唱が特に好き」「みんなと合わせて歌うと楽しい」「みんなの心が一つになったみたいと感じる」など、みんなで協力し合いながら創り上げていくことの楽しさや喜びを感じていることがうかがえる。その他、歌う時に気をつけていることとして最も多かったのは、リズム、次いで歌詞、音程と答えた生徒が多い。特に基礎的な技能を意識して歌唱活動に取り組んでいることが分かる。

以上のことから、単に歌うだけでなく、楽曲から読み取れることを表現するためにどのような工夫をすればよいか互いに感じたことを話し合いながら意欲的に取り組ませ、一人一人の生徒が表現する喜びを感じ取れるような指導をしていきたい。

3 題材の目標

- (1) 楽曲を理解し、意欲的に歌唱活動に取り組むことができる。
- (2) 自分の想いや意図をもって表現するための工夫ができる。
- (3) 楽曲を構成する諸要素の働きを生かし、表現することができる。
- (4) 合唱による響きを聴き合うことができる。

4 指導計画（全5時間）・〔単位時間における評価規準〕

時	主な学習活動	単位時間における評価規準			
		ア 音楽への関心 ・意欲・態度	イ 音楽的な感受 や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
1	「太陽がくれた季節」 1 楽曲について理解する。 2 アナリーゼ（全体）と音取り（パート）をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲について理解しようとしている。 ・ 音取りに意欲的に取り組むことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しいリズムや音程で歌うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原曲を聴き、楽曲のイメージをもつことができる。 ・ 範唱から正しいリズムや音程を聴き取ることができる。
2	「太陽がくれた季節」 1 曲全体の雰囲気を感じながら合唱をする。 2 曲の構成からイメージする。 （未来をみつめた前向きな詩と生きる力強さを表した旋律） 「マイバラード」 3 パート編成をし、音取りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のパートをしっかりと歌おうとしている。 ・ 楽曲の内容に興味・関心をもって取り組むことができる。 ・ 音取りに意欲的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の構成からイメージをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲全体の雰囲気を感じ取りながら歌うことができる。 ・ イメージを自分の言葉で表現することができる。 ・ 正しいリズムや音程で歌うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声の響き合いを聴き取ることができる。
3 （本時）	「太陽がくれた季節」 1 前時の学習を振り返りながら歌う。 2 曲のもつイメージを生かした表現の工夫をする。 3 グループ発表をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のパートを意欲的に歌うことができる。 ・ 曲のもつイメージについて意見交換することができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○話しかけるような部分 ○ハーモニーを楽しむ部分 ○掛け合いの部分 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲のもつイメージを生かした表現の工夫ができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○話しかけるように ○力強く ○前向きに ○確かめ合う </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のグループの意図した表現の工夫を感じ取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のパートのリズムや音程を確認しながら歌うことができる。 ・ 曲のもつイメージを生かしながら歌うことができる。 ・ 曲のもつイメージを生かしてグループ発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他のグループの表現の工夫を聴き取ることができる。
4	「太陽がくれた季節」 1 曲全体について具体的に表現の工夫をする。 「マイバラード」 2 楽曲について理解し、歌詞の意味やイメージをとらえて歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞の内容に興味をもち、楽曲について理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸記号を理解し表現の工夫をすることができる。 ・ イメージを自分の言葉で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発声や発音など、具体的な表現の工夫をして歌うことができる。 ・ イメージにあった表現の工夫をして歌うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の響きを聴き取ることができる。
5	「マイバラード」 1 声部の役割を感じ取りながら合唱をする。 2 曲全体について具体的な表現の工夫をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲の構成から、声部の役割を理解することができる。 ・ 思いや意図をもって意欲的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸記号を理解し表現の工夫をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声の響き合いを感じ取りながら歌うことができる ・ 具体的な表現の工夫をして歌うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の響きを聴き取ることができる。

5 本時の実際（3／5）

(1) 目 標 曲のもつイメージを生かした表現の工夫をしよう。

(2) 授業づくりの支点

① 学習カードやステップシートの工夫

学習効果を高めるために、学習カード、ステップシートの工夫を行う。また、「表現のための虎の巻」を用いて、生徒が楽曲から感受したイメージを言葉で説明し、表現の工夫をさせる。

② 表現活動における習得した技能を活用させる授業の工夫

曲の特徴やイメージをとらえ、その特徴やイメージを表現の工夫の課題とし、楽譜に示されているさまざまな要素・記号を自分たちの想いで表現させる。

(3) 展 開

過程	時間形態	主 な 学 習 活 動	指導上の留意点 ◎ 評 価 ※授業のポイントの工夫
導 入	5分 一斉	1 「太陽がくれた季節」を歌う。 2 本時の目標を確認する。 曲のもつイメージを生かした 表現の工夫をしよう。	○ 前時の学習内容を確認させる。 ◎ 前時の学習を振り返りながら、自分のパートを意欲的に歌うことができたか。 ○ 本時の目標と学習の流れについて提示し、意欲を高めさせる。
展 開	5分 一斉 20分 グループ 15分 一斉	3 曲の特徴やイメージをとらえる。 ・ 話しかけるような部分 ・ ハーモニーを楽しむ部分 ・ 掛け合いの部分 4 各グループで練習をする。 □ イメージにあった表現の工夫をして歌う。 ・ 言葉（子音や母音の扱い） ・ フレーズ感 ・ 音程（跳躍音程） ・ 掛け合いのバランス 5 グループごとに、工夫したことを説明し、発表をする。	○ 曲のもつイメージについて意見交換し、曲に対する思いを深めさせる。 ◎ 曲の特徴をとらえ、イメージをまとめることができたか。 ○ イメージにあった表現の工夫について、相互にアドバイスをさせる。 ※ 「リファレンスカード」を使って、表現の工夫をさせる。 ◎ イメージにあった表現の工夫をすることができたか。 ○ グループで工夫したことを全員で確認しながら歌わせる。 ◎ 意図した工夫が説明でき、それを表現することができたか。
終 末	4分 一斉 個人 1分 一斉	6 本時の学習を振り返り、部分ごとにリレーをして歌う。 7 次時の予告を聞く。	○ 工夫したことを意識しながら歌わせる。 ○ 本時の学習を振り返らせ、ステップシートに記入させる。 ○ 次時の予告をする。